

平成 29 年 12 月 11 日

各 位

フィンテック グローバル株式会社  
代表取締役社長 玉 井 信 光  
(コード番号：8789 東証マザーズ)  
問合せ先：上席執行役員 千田 高  
電 話 番 号： ( 0 3 ) 5 7 3 3 - 2 1 2 1

### 飯能市とのメッツァ事業の費用負担に係る覚書締結等に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 12 月 11 日の取締役会において、平成 30 年秋に開業予定のメッツァビレッジの施設整備に要する費用の一部を埼玉県飯能市（市長：大久保 勝、以下、「飯能市」といいます。）が負担すること等に関して、覚書を締結することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、平成 31 年春にグランドオープン予定のムーミンバレーパークの不動産を保有する特別目的会社である当社子会社飯能地域資源利活用合同会社（以下、「地域 SPC」といいます。）が、飯能市と匿名組合契約を締結することを決定しましたので、あわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 経緯

当社は、メッツァの開設にあたり、飯能市と当施設の開設や飯能市の観光振興に資する事項等で連携協力していく旨を定めた「地方創生に関する基本協定」を締結しております。

メッツァ開業の準備をしている宮沢湖は、飯能市の重要な観光資源であるとともに長年市民に愛されてきた憩いの場であります。また、メッツァビレッジ及びムーミンバレーパークの用地には、当社又は地域SPCが飯能市より使用許可を受けている行政財産が含まれております。このため、メッツァビレッジは誰もが無料で利用できる公園的機能を設定しており、市民の憩いの場をさらに充実させるものであることから、当社と飯能市はメッツァビレッジを開業させるための施設整備に要する費用のうち、150百万円をメッツァ事業負担金として飯能市に負担していただくことを合意いたしました。これを受けて、当社は当該負担金に関し、飯能市と費用負担に係る覚書を締結するものであります。

また、ムーミンバレーパークについては、平成29年7月に、土地、建物等（原資産）を証券化手法により、原資産の所有者である当社から分離・倒産隔離させて、地域社会の発展に貢献する「公共資産」とし、永続的なコミュニティの形成を支援する取組みとするため、地域SPCに譲渡されました。当社グループは、ムーミンバレーパークを「公共資産」

として運用していく方針であります。今般は、飯能市がムーミンバレーパークの地域産業や観光の促進効果等を踏まえて、地域SPCへの匿名組合出資の募集に応じていただくことになったものであります。

## 2. 覚書の概要

負担金額	150 百万円
負担内容	メッツァビレッジが誰もが無料で利用できる公園的機能を有することに鑑み、飯能市は宮沢湖においてメッツァビレッジを開業させるため当社が行う施設整備に要する費用の一部を負担する。
覚書締結日	平成 29 年 12 月中（予定）
支払時期	原則として平成 30 年 3 月 31 日まで
地方創生に資する取組	当社は事業運営の範囲内において、下記の事項について、飯能市と協力して取り組むよう努める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・飯能市の施策と連携した運営</li> <li>・飯能市民の優先的な雇用等の検討</li> <li>・飯能市内事業者の優先的な選定等の検討及び参入しやすい環境整備</li> </ul>

## 3. 今般の地域SPCの匿名組合出資の募集の概要

匿名組合員	飯能市
出資額	50 百万円
契約日	平成 29 年 12 月中（予定）
実行日	平成 29 年 12 月中（予定）

## 4. 今後の見通し

メッツァ事業負担金は建設・整備のための工事費用に充てられます。当社は、メッツァビレッジを地域産業の発展、雇用の促進、飯能市民をはじめとする皆様の憩いの場として親しまれる施設とすべく、当負担金をメッツァビレッジの建設・整備に充てて、地方創生に貢献して参る所存であります。

また、ムーミンバレーパークへの匿名組合出資金についてはムーミンバレーパークの建設・整備に充てられますが、メッツァビレッジと同様に地域産業発展、雇用促進に貢献できる施設とする所存であります。

上記による当社業績への影響は、軽微であります。

以 上